

令和 7 年 5 月 26 日

各 位

薬局 医薬品情報室

## 第 294 回薬事委員会 伊勢原協同病院 採用薬品等について

\*原則、令和 7 年 6 月 1 日以降より使用いたします。

院外採用薬はマスタ設定次第開始となります。

### 1. 新規採用薬品について

#### (1) アイリーア 8mg 硝子体内注射用キット 114.3mg/mL [眼科]

アイリーア 8mg 硝子体内注射用キット 114.3mg/mL は、採液などの準備の必要がないキット製剤であり、現在使用しているアイリーア 8mg 硝子体内注射液 114.3mg/mL に代わり採用となります。

#### (2) トリビック [産婦人科]

3 種混合ワクチン（ジフテリア・破傷風・百日咳）は、成人（妊婦を含む）に対する百日咳の追加免疫を希望する患者が多いため、新規採用となります。

### 2. 院外採用薬品について

報告事項はありません。

### 3. 採用区分変更の薬品について

#### (1) ジゴシン錠 0.25mg（太陽ファルマ） 薬価：10.1/錠

ジゴシン錠 0.25mg は、2024 年 1 月より院内の使用実績が無く、院内の在庫も無くなり、代替薬としてハーフジゴキシ錠 0.125mg があるため、院外採用区分へ変更します。

#### (2) ジゴシン散 0.1%（日医工） 薬価：25.9/g

ジゴシン散 0.1%は、2024 年 1 月より院内の使用実績が無く、院内の在庫も無くなり、ハーフジゴキシ錠 0.125mg の錠剤を粉砕することで代用が可能のため、院外採用区分へ変更します。

#### (3) ジゴシンエリキシル 0.05mg/mL（太陽ファルマ） 薬価：36.9/mL

ジゴシンエリキシル 0.05mg/mL は、2024 年 1 月より院内の使用実績が無く、院内の在庫も無くなり、ハーフジゴキシ錠 0.125mg の錠剤を粉砕することで代用が可能のため、院外採用区分へ変更します。

**(4) アテノロール錠 50mg「サワイ」 (沢井製薬) 薬価：6.1/錠**

アテノロール錠 50mg「サワイ」は、2024年1月より院内の使用実績が無く、院内の在庫も無くなり、アテノロール錠 25mg「サワイ」で代用が可能なため、院外採用区分へ変更します。

**(5) エストラナーテープ 0.72mg (久光製薬) 薬価：74.5/枚**

エストラナーテープ 0.72mg は、2024年1月より院内の使用実績が無く、院内の在庫も無くなったため、院外採用区分へ変更します。

**(6) ハイパジールコーワ点眼液 0.25% (興和) 薬価：181.7/mL**

ハイパジールコーワ点眼液 0.25%は、2024年1月より院内の使用実績が無く、院内の在庫も無くなったため、院外採用区分へ変更します。

**(7) ハベカシン注射液 200mg (Meiji Seika ファルマ) 薬価：5,830**

ハベカシン注射液 200mg は、MRSA 感染症治療薬として他の薬剤が効果不十分等の場合において使用する、院内に在庫を置かない用時購入採用薬へ採用区分を変更します。

#### 4. 採用中止薬品について

**(1) アイリーア 8mg 硝子体内注射液 114.3mg/mL 薬価：181,763/V**

バイアル製剤のアイリーア 8mg 硝子体内注射液 114.3mg/mL は、キット製剤のアイリーア 8mg 硝子体内注射用キット 114.3mg/mL が採用となるため、採用中止とします。

**(2) アロンアルファ A「三共」**

アロンアルファ A「三共」は、製造会社の販売中止に伴い採用を中止とします。

**(3) 無水エタノール注「フソー」 5mL/A**

無水エタノール注「フソー」は、院内で使用実績がなく今後も使用しないため採用中止とします。

**(4) ネスプ注射液 180 $\mu$ g プラシリンジ 薬価：12,376 / 筒**

**(5) ネスプ注射液 120 $\mu$ g プラシリンジ 薬価：9,434 / 筒**

ネスプ注射液 180 $\mu$ g プラシリンジおよびネスプ注射液 120 $\mu$ g プラシリンジは、バイオシミラー製剤である『ダルベポエチンアルファ注 180 $\mu$ g シリンジ』および『ダルベポエチンアルファ注 120 $\mu$ g シリンジ』と効能・効果が同一となったため採用中止とします。

#### 5. 販売名変更の報告

報告する内容はありません。

## 6. メーカー変更の報告

・ハイドレアカプセル

クリニジェン → チェプラファーム

・オビソート注射用 0.1g

第一三共 → アルフレッサファーマ

・トランサミンシロップ 5%

第一三共 → ニプロ

上記の薬剤についてメーカーが変更となります。

## 7. 特別採用薬品の報告

- (1) エムラクリーム [透析科] 薬価：185.2/g
- (2) ルンスミオ点滴静注 1mg [血液内科] 薬価：83717/V
- (3) ルンスミオ点滴静注 30mg [血液内科] 薬価：2393055/V
- (4) クレセンバカプセル 40mg [血液内科・院外] 薬価：4476.6/Cap
- (5) シクロスポリンカプセル 50mg 「サンド」 [血液内科・院外] 薬価：77.6/Cap
- (6) テトラビック皮下注シリンジ [小児科]
- (7) ゼップバウンド皮下注 2.5mg [糖尿病内科・院外] 薬価：3067/キット
- (8) ゼップバウンド皮下注 5mg [糖尿病内科・院外] 薬価：5979/キット
- (9) ゼップバウンド皮下注 7.5mg [糖尿病内科・院外] 薬価：7721/キット
- (10) ゼップバウンド皮下注 10mg [糖尿病内科・院外] 薬価：8999/キット
- (11) ゼップバウンド皮下注 12.5mg [糖尿病内科・院外] 薬価：10180/キット
- (12) ゼップバウンド皮下注 15mg [糖尿病内科・院外] 薬価：11242/キット
- (13) アウイクリ注フレックスタッチ総量 300 単位 [糖尿病内科] 薬価：2081/キット
- (14) ゼボジアカプセルスターターパック [消化器内科・総合内科・院外] 薬価：12313.3
- (15) ゼボジアカプセル 0.92mg [消化器内科・総合内科・院外] 薬価：4792.8/Cap
- (16) アレジオン眼瞼クリーム 0.5% [皮膚科・院外] 薬価：3373.4/本

－患者限定 臨時採用薬使用－

- (1) ユバンシ配合錠 [循環器内科・院外] 薬価：13334.9/錠
- (2) ツムラ胃苓湯エキス顆粒 (2.5g/包) [産婦人科・院外] 薬価：41/包
- (3) ツムラ潤腸湯エキス顆粒 (2.5g/包) [産婦人科・院外] 薬価：38/包
- (4) ツムラ当帰建中湯エキス顆粒 (2.5g/包) [産婦人科・院外] 薬価：36.5/包
- (5) ツムラ三物黄ごん湯エキス顆粒 (2.5g/包) [産婦人科・院外] 薬価：18.5/包

(6) トリンテリックス錠 10mg [整形外科・血液内科] 薬価：161.7/錠

(7) ケレンディア錠 10mg [循環器内科] 薬価：143.9/錠

上記薬剤は、現在特定の診療科又は特定の患者において処方されている、処方が予定されている特定使用薬品です。申請された診療科及び患者のみ使用可能となっています。

## 8. 後発医薬品切り替えについて

### (1) 5 $\alpha$ 還元酵素阻害薬・前立腺肥大症治療薬

現行品：デュタステリドカプセル 0.5mgAV「武田テバ」(武田テバ) 薬価：26.8 / Cap

後発品名：デュタステリドカプセル 0.5mgAV「トーワ」(東和薬品) 薬価：26.8 / Cap

### (2) 外用消毒剤

先発品：ポビドンヨードゲル 10%「VTRS」(ヴィアトリス) 薬価：32.7 / g

後発品名：ポビドンヨードゲル 10%「ケンエー」(健栄製薬) 薬価：32.7/g

### (3) 選択的セロトニン再取り込み阻害剤

現行品：セルトラリン錠 25mg「NP」(ニプロ) 薬価：9.5/錠

後発品名：セルトラリン錠 25mg「アメル」(共和薬品) 薬価：9.5/錠

デュタステリドカプセル 0.5mg、ポビドンヨードゲル 10%、セルトラリン錠 25mg は、製薬会社の都合による販売中止のため、後発医薬品より後発医薬品への切り替えとなります。

## 9. その他

### —流通関連—

#### (1) ドパミン塩酸塩点滴静注液 600mg キット「KCC」限定出荷解除のお知らせ

ドパミン塩酸塩点滴静注液 600mg キット「KCC」は 2024 年 11 月より原材料の受入試験において規格外の判定により限定出荷となっていました。2025 年 3 月より限定出荷が解除された旨を説明した。

#### (2) サワシリン細粒 10% 限定出荷解除のお知らせ

サワシリン細粒 10%は、2023 年 5 月より他の抗生剤の出荷調整および感染症の拡大により限定出荷となっていました。2025 年 3 月より限定出荷が解除されました。

#### (3) アドエア 100 ディスカス 60 吸入用 限定出荷解除のお知らせ

アドエア 100 ディスカス 60 吸入用は 2025 年 2 月より他社の吸入薬の出荷調整による影響により限定出荷となっていました。2025 年 3 月より限定出荷が解除されました。

**(4) フリュザクラカプセル 通常出荷のお知らせ**

フリュザクラカプセルは、2025年2月より予想された需給量以上の需要拡大により限定出荷となっていました。2025年5月より限定出荷が解除されました。

**(5) マキュエイド眼注用 40mg 出荷調整解除のお知らせ**

マキュエイド眼注用 40mg は、2023年4月より不溶性異物試験において不適合の結果により出荷停止となっていました。2025年5月より出荷停止が解除されました。

**(6) アルト原末 1g 限定出荷解除と出荷調整のお知らせ**

アルト原末 1g は、2024年11月より製造設備の不備により出荷停止となっていました。2025年3月より出荷停止が解除されました。しかし、市場への流通量が少ないため出荷調整が実施されています。

**(7) ソルダクトン 静注用 200mg 出荷調整解除と限定出荷のお知らせ**

ソルダクトン 静注用 200mg は、2024年7月より製造設備の不備により出荷停止となっていました。2025年4月より出荷停止が解除されました。しかし、市場への流通量が少ないため出荷調整が実施されていることから、当院では継続して処方制限を実施します。

**(8) ケナコルト-A 筋注用関節腔内用水懸注 供給に関するお知らせ**

ケナコルト-A 筋注用関節腔内用水懸注は、新製造ラインの適格性評価に時間を要しており安定供給に支障をきたす恐れがあるため出荷調整が実施されています。供給再開とならない場合、2025年7月には在庫が消尽するため、処方制限を実施する可能性があります。

**(9) ヘルニコア椎間板注用 1.25 単位 供給停止に関するお知らせ**

ヘルニコア椎間板注用 1.25 単位は、製造遅延が発生したため出荷停止となりました。使用している整形外科 鎌田院長、野尻副院長に対して今後の流通、院内の在庫に関する情報を共有し対応しています。

**(10) ミオコールスプレー 0.3mg 出荷停止に関するお知らせ**

ミオコールスプレー 0.3mg は、一部製品の噴霧不良の懸念がある部品破損が確認されたため、市場の流通が停止しています。院内の在庫および院外における調剤薬局の在庫状況により処方制限（処方停止）を実施する可能性があります。

**(11) アミサリン錠 125mg 出荷停止に関するお知らせ**

アミサリン錠 125mg は、製造再開の目途が立たないため出荷が停止となりました。アミサリン錠 125mg は、現在のところ継続した患者がいないため循環器内科と相談の上、処方制限（処方停止）を実施しています。

**(12) ハイカムチン注射用 1.1 mg 出荷停止に関するお知らせ**

ハイカムチン注射用 1.1mg は、製造に関する逸脱が生じた報告があり輸入ができない状況です。主に使用する呼吸器内科へ報告した上で処方制限（処方停止）を実施しています。

**(13) ミコブティンカプセル 150mg 出荷調整に関して**

ミコブティンカプセル 150mg は、品質試験が承認規格に適合しないことが判明したため一時的に出荷が停止となりましたが、その後出荷が一部再開されました。ミコブティンカプセル 150mg の安定供給が図られるまで処方制限を実施します。

**(14) ソル・コーテフ注射用 100mg 出荷調整に関して**

ソル・コーテフ注射用 100mg は、2024 年 10 月より出荷が停止となっていました。2025 年 4 月より一部流通が再開されました。しかし、市場の供給量が、院内で使用するには十分なため、継続して処方制限を実施しています。また、代替薬として日医工が販売している「水溶性ヒドロコトニン注射液 100mg」が市場に出回るようになりましたが、ソル・コーテフ注射用 100mg の在庫が一定量を低下した場合に「水溶性ヒドロコトニン注射液 100mg」の購入を検討する方針となりました。

**(15) ロキシプロフェンゲル 1% 「NP」販売中止に伴う対応について**

ロキシプロフェンゲル 1% 「NP」（薬価：2.1/g）は、販売中止となります。同成分の後発医薬品においても同様に販売中止となるため、先発品である「ロキシニンゲル 1%（薬価：2.6g/g）」へ切り替えを実施します。

**(16) マルファ懸濁用配合顆粒について**

2025 年 3 月の薬事委員会にて同種同効薬の後発医薬品である「マックメット懸濁用配合 DS」が販売中止のため採用を中止としました。2025 年 4 月以降に先発医薬品である「マルファ懸濁用配合顆粒」の流通が再開したため、「マルファ懸濁用配合顆粒」を正式採用とすることが承認されました。

**—その他—**

**(17) アロチノロール製剤におけるニトロソアミン類の検出について**

アロチノロール製剤におけるニトロソアミン類の検出について、当院で採用されている『アロチノロール塩酸塩錠 10mg 「DSP」』において、N-ニトロソアロチノロールが検出された旨が厚生労働省より発表されました。N-ニトロソアロチノロールの発がん性のリスク、今後の対応について協議し対応しています。

以上